

4 授業モデル2 小学校第5学年「事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう」(3/6)

目標

- ・ 叙述を基に、筆者の主張をまとめることができる。(思考力、判断力、表現力等)(1)ア
- ・ 対話活動により、自分の考えを再構築することができる。(思考力、判断力、表現力等)(1)オ

授業充実の3ポイント	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ(※評価)
[目標の明確化] ○ 興味関心が生まれる導入 ○ 問題意識の焦点化 ○ 学習問題の設定	1 4つの「想像力のスイッチ」が何だったかを想起する。 ①「まだ分からないよね。」②「事実かな、印象かな。」 ③「他の見方もないかな。」④「何がかくれているかな。」 の4つがあったね。 「想像力のスイッチ」を入れなかったらどうなるかな? 思いこみや推測によって、苦しむ人が生まれてしまうよ。 2 学習課題を設定する。 筆者の考える「『想像力のスイッチ』を入れる」とは、どういうことだろうか。	5	○ 「想像力のスイッチ」に対する考えを焦点化させるために、4つのスイッチを想起させる。 ○ 「想像力のスイッチ」を入れる目的を確かめさせるために、起こりうるマイナス面を考えさせる。 書く条件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の言葉を使う。 ・ 15字以上30字以内で書く。 ・ 「想像力のスイッチを入れてみる」とは、どうすることなのかを書く。
○ 自力解決による最初の考え(仮説)の構築	3 叙述を基に、筆者の主張をまとめる。 ・ 結論を急がず、決めつけしないで考える。(スイッチ①) ・ 一つ一つの言葉について、事実か印象かを冷静に見直す。(スイッチ②) ・ 他の見方がありうると考え直す。(スイッチ③) ・ 伝えていないことについても想像力を働かせる。(スイッチ④)	10	○ 筆者の主張をより具体的に表現するために、思考や行動を明確に記述させる。 【本時における着目させたい叙述の例】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続語 ・ 事例の中にある筆者の意見 ・ 段落の中心となる文 ※ 叙述を基に、筆者の主張を捉えることができたか。
[山場の工夫] ○ 考えの共有(学び合い) ○ 自力解決による最終的な考えの構築	4 根拠をはっきりさせて、書いた文章を基に話し合う。 ・ 確かに8段落には「結論を急がない」と書かれているね。 ・ 「決めつけない」と「他の見方がありうる」という考えは共通しているね。 ・ 「何がかくれているかな」と想像することは、思いこみをへらすことになりそうだね。 ・ 全部をまとめたら、主張が長すぎて分かりにくくなってしまふよ。 文章全体の構成を振り返って、筆者の主張を探してみましょう。 「初め」や「終わり」の段落に筆者の主張が書かれていたね。	20	視点1 ○ 叙述を確かめたり、考えの共通点や相違点を見出したりしながら、考えを再構築させる(読みを深める)。 ○ 考えを再構築させるために、対話活動の視点を基に話し合わせる。 対話活動の視点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文のどこに書いてあるか。(根拠) ・ 考えの共通点は何か。 ・ それをすることで、思いこみをへらせるか。
[確かめ・見届け] ○ 学習のまとめ ○ 振り返り	5 学習のまとめをする。 (例) あたえられた情報を事実の全てだと受け止めず、頭の中で想像力を働かせること。 6 本時の学習を振り返る。 ・ 分かったこと ・ なるほどと思ったこと ・ これからやってみよう ・ 考えが変わったこと ・ 生かしたいこと など	10	※ 叙述を基にまとめた考えを、対話活動によって深めることができたか。 視点2 【次時に向けて】 ○ 読み取った筆者の主張に対する自分の考えを[共感][批判][疑問]の視点で書かせる。

※ 単元の学習計画は、別紙の参考資料を参照。

【演習問題について】 国語科では、一単位時間の中で演習問題に取り組むのではなく、単元の始めや終末で取り組むことも考えられる。※ 本単元に関連する演習問題の例 <国語WEB問題> 「5年『読むこと』(3) 説明的文章」

【コアティーチャーネットワークプロジェクト国語部員

繁山 大樹(朝日小)、井上 里美(大和小)、田淵 智子(久志小)、貴島 由香(戸口小)、吉川 真由美(諸鈍中)
 大石 逸樹(亀津中)、小城 絵理(和泊中)、當房 省吾(龍郷町教育委員会)、小峯 三朗(大島教育事務所)

令和4年度

学力定着のためのリーフレット 国語科編

＝コアティーチャーネットワークプロジェクトまとめ＝

大島教育事務所

「未来の創り手を育成する学力向上プログラム」の一環として行われたコアティーチャーネットワークプロジェクトで「質の高い授業」のモデルづくりに取り組みました。

大島地区で課題のある単元に焦点を当て効果的な指導法を提案していますので、ぜひ、参考にして日々の授業に生かしましょう。

1 大島地区の国語科の課題 (令和3年度鹿児島学習定着度調査結果から)

○ 「鹿児島学習定着度調査」結果分析



県平均と大島地区の通過率の結果から、「文章と資料を結び付けて考えたり、必要な情報や筆者の考えを捉えたりすることが難しい児童生徒が多い」ということが分かりました。

※ 通過率 小5… 49.9%(大問四ー1)
中1… 54.1%(大問三ー5)
中2… 61.6%(大問三ー6)

右の問題は、中学校1年生の問題です。文章全体や段落の中心を見付けることは、筆者の主張を見付ける手がかりになります。そのために、要点をつかみ、要約する学習活動を積み上げることが大切です。詳しくは下のコラムをご覧ください。



○ 次の文章は、一線部④「エシカルな生き方」とはどんな生き方かについて森川さんが友人と話した【会話文の一部】である。会話文の□に当てはまる言葉を【参考資料】から九字で抜き出して書け。

【会話文の一部】

友人 つまり、エシカルな生き方には、□

→ 中略 →

へ思いをはせることが大切ということだね。

大島地区国語科の課題

～筆者の主張や意図を捉え、それに対する自分の考えを表現すること～

2 授業づくりのポイント

【視点1】 読みを深める「山場の工夫」

【視点2】 深めた読みを表現する「単元構想の工夫」

コラム

小学校3年生では・・・

筆者は、大豆がいろいろなすがたで食べられるようになったのは、味もよく、たくさんおいしく食べていて、多くのおいきで植えられたからだのべている。

私は、すがたを変えてきた大豆は、日本人の食事にかかせないものだと思った。

【すがたをかえる大豆】

条件1 大豆がいろいろなすがたで食べられるようになった理由について、筆者は、どのように述べているかを書く。(考えの中心を捉える)

条件2 大豆について、筆者の考えをふまえた上で、自分の考えを書く。(自分の考えを表現する)

小学校1年生では・・・

ライオンの赤ちゃんは、生まれたときは、子ねこぐらいの大きさで、しまつまの赤ちゃんは、やぎぐらいの大きさがあります。

だから、わたしは、しまつまの赤ちゃんの方が強いと思います。それは、生まれたときの大きさが、しまつまの方が大きいからです。

【どうぶつの赤ちゃん】

条件1 ライオンの赤ちゃんとしまつまの赤ちゃんのちがいを書く。(必要な情報を選ぶ)

条件2 ライオンの赤ちゃんとしまつまの赤ちゃんはどちらが強いか、理由を入れて、自分の考えを書く。(自分の考えを表現する)



小学校低・中学年でも取り組むことができ、要約する学習活動の例を紹介します。



それでは、授業づくりの視点を踏まえて、令和4年度コアティーチャーネットワークプロジェクトで作成した授業モデルを見てみましょう。

3 授業モデル1 中学校第2学年「説得力のある文章を書いて、新聞に投稿しよう」(3/10)

- (1) 単元名 説得力のある文章を書いて、新聞に投稿しよう
- (2) 教材名 「思考のレッスン2 根拠の吟味」
「モアイは語る—地球の未来」
「根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く」(光村図書 国語2)
- (3) 目標 ア 意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報との関係の様々な表し方を理解し、使うことができる。(知識及び技能) (2) ア
イ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思考力、判断力、表現力等) (1) エ
ウ 根拠の適切さについて積極的に教材を読み、考えを深め、学習課題に沿って自分の思いや考えを伝え合おうとしている。(学びに向かう力、人間性等)
- (4) 本時の指導のポイント

- 【視点1】
- 目的意識を明確にして学ぶことができるために、学習課題を工夫し、見通しをもたせる。
 - 叙述に即しながら自分の考えをまとめる時間を確保した後で、意見を交流する活動を設定し、考えを深めさせるようにする。
- 【視点2】
- 終末段階において、筆者の考えの根拠を確認することを通して、根拠の必要性や段落の関係について気付かせ、意見文の作成に役立たせる。

(5) 単元の学習計画 (全 10 時間)

時間	教材名	主な学習内容	指導上の留意点
第1時	「根拠の吟味」	<ul style="list-style-type: none"> 説得力がある文章を書くために、根拠の適切さを吟味する。 単元の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を吟味するポイントを考えさせる。 単元の目標や流れを、「見える化」させる。 ※ 学習カードによる記録など
第2時	「モアイは語る—地球の未来」	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成に着目し、内容を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の問題提起に対する主張を読み取らせる。
第3時 (本時)		<ul style="list-style-type: none"> 筆者がイースター島を例に挙げた理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> イースター島と地球との共通点を、叙述を基に読み取らせる。
第4時		<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張に対する自分の考えを150字程度でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の意見と根拠の結び付きを参考に、今後自分はどうすべきか、考えをまとめさせる。
第5時	「根拠の適切さを考えて書こう」	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を書くための課題を決め、分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞等を活用して、身の回りから課題を決め、表などを使って、複数の観点で分析させる。
第6時		<ul style="list-style-type: none"> 自分の立場を決めて、意見の根拠を考える。 反論を想定して、それに対する意見を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題について賛成、反対の立場を明らかにし、その立場を支える根拠を考えさせる。 自分の意見や根拠に対する反論を想定させ、意見を深めさせる。
第7・8時		<ul style="list-style-type: none"> 演習問題を通して、「文章の構成」を振り返る。 構成を考え、意見文の下書きをする。 	<ul style="list-style-type: none"> Web問題「中2『書くこと』2」に取り組ませる。 400字以内の意見文を書かせる。
第9時		<ul style="list-style-type: none"> 下書きを交流する。 助言を参考に、推敲・清書をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 付箋を使って、説得力があると思ったところや改善点を伝え合わせる。 表現や表記の見直しをさせる。
第10時		<ul style="list-style-type: none"> 意見文を交流し、評価し合う。 単元のまとめをし、自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 観点を示し、相互評価・自己評価をさせる。(観点例 課題・根拠の適切さ等)

(6) 本時の実際

目標

- 意見と根拠，具体と抽象など，情報と情報との関係について理解することができる。
(知識及び技能) (2) ア
- 文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えることができる。

(思考力，判断力，表現力等) (1) エ

授業充実の3ポイント	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ(※評価)
<p>【目標の明確化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題意識の焦点化 ○ 学習課題の設定 ○ 解決の見通し 	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 筆者の主張と具体例の関係について，考えをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>筆者はどんな人なのかな？</p> </div> <p>筆者の紹介を見ると，「環境考古学者」って書いてあるね。</p> <p>『人類破滅の選択』って本も書いているけど，なんでイースター島を例にしたんだろう？</p> <p>3 学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>筆者は，なぜイースター島を例に挙げたのだろうか。</p> </div> <p>4 学習の流れを確認する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時で確認した筆者の主張を想起させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>【筆者の主張】 私たちは，今あるこの有限の資源をできるだけ効率よく，長期にわたって利用する方策を考えなければならない。それが，人類の生き延びる道なのである。</p> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>視点1 目的意識を明確にして学ぶことができるために，学習課題を工夫し，見通しをもたせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 叙述の読み取りに課題のある大島地区の生徒に対して，身に付けたい力を明確にした学習課題を設定する。
<p>【山場の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自力解決による最初の考えの構築 	<p>5 学習課題に対する答えを試し書きする。</p> <p>『「イースター島」とこれからの地球が似ているから」なんじゃないかな？</p> <p>「似ている」だけでは，説得力が足りないよね。もう少し言葉を付け加えたいな。</p> <p>グループで意見をもち寄って，もっと説得力のある文章にしてみよう。</p>	10	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>視点1 叙述に即しながら，自分の考えをまとめる時間を確保した後，意見を交流する活動を設定し，考えを深めさせるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ※ 筆者の考えを叙述に即して読み取ることができたか。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えの共有(学び合い) ○ 自力解決による最終的な考えの構築 	<p>6 グループで意見を交流し，より説得力のある答えを検討する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>ホワイトボードやタブレット端末を活用する。</p> </div> <p>7 各グループから出た意見の中から，最も説得力のある答えを選び，理由を考える。</p> <p>このグループは具体的な数字があるから一番説得力があると思う。</p> <p>地球とイースター島の共通点が分かりやすいから，あのグループが一番よいと思う。</p>	23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1時に学習した説得力を高めるための方法を想起させ，その方法を使ってグループの答えを書く。 ※ 試しの意見を交流し，自身の課題を見出すことができたか。 ○ 選んだ根拠が適切であれば，どのグループの意見を選んでも許容する。
<p>【確かめ・見届け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめ ○ 振り返り 	<p>8 本時のまとめを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>主張に説得力をもたせるため，人口の急激な増加や，地理的な条件等，地球と共通点が多いイースター島を例に挙げることで，森林の消滅が，飢餓，そして文明の崩壊につながることを示したかったから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>生徒の実態に応じて，まとめ方を工夫する。</p> </div> <p>9 今後の活動への見通しをもつ。</p> <p>イースター島を例に挙げた理由が分かって，筆者の主張もより納得できるね。このように，意見と根拠のつながりを明確にすることで，主張がより分かりやすくなるよね。これから書く意見文にぜひ活かしてみよう。</p>	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題を振り返り，まとめを下記のキーワードをもとに考えさせるなど，自分の言葉でまとめさせる。 <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>【キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の急激な増加 ・地理的な条件等 ・森林の消滅 ・飢餓 ・文明の破壊 </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>視点2 筆者の考えの根拠を確認する中で，根拠の必要性や段落の関係について気付かせ，意見文の作成に役立てる。</p> </div>